国土交通省　北陸地方整備局
北陸技術事務所

資　料　配　布

配布日時	令和８年１１月１８日
扱　　い	本紙配布を以て解禁

令和8年度建設技術報告会の聴講者を募集します！
～聴講によりCPDS・CPDの取得が可能です～

最新の建設技術や研究成果を紹介する「令和8年度建設技術報告会」を開催します。

本報告会は、今年で31回目の開催となり、北陸地方における建設技術の普及と発展に貢献してきました。オンデマンド配信のため、お好きな時間にご視聴いただけます。

聴講は無料ですが、事前登録が必要です。聴講をご希望の方は、下記URLよりお申し込みください。

多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

1．聴講申込期間
令和8年11月20日（金）～令和9年1月7日（木）
聴講申込はこちら 👉 https://www.kensetsu-houkokukai.info/

2．開催期間
令和9年1月8日（金）～令和9年1月29日（金）

3．定員
1，000名を予定

4．聴講料
無料

5．報告技術
19技術（オンデマンド配信）

6．その他
（一社）全国土木施工管理技士連合会の継続教育（CPDS）認定プログラムです。また、（一社）建設コンサルタンツ協会のCPD（継続教育）受講証明書を発行します。
【CPDS：4ユニット　認定番号：1125109】
【CPD　：視聴実時間　4時間7分】

同時発表記者クラブ
管内各県記者クラブ
その他・専門誌

北陸地方建設事業推進協議会
「北陸地方建設技術報告・広報委員会」事務局
（国土交通省 北陸地方整備局 北陸技術事務所）
TEL：０２５－２３１－１２８１（代表）
副所長（技術）　松村　潤
技術情報管理官　大勝　雄介



オンデマンド配信

建設分野の新技術・新工法の報告会

令和8年度 建設技術報告会

Construction Technology Debriefing Session

「建設技術報告会」は、北陸地方における建設事業の円滑な推進を図るため、官公庁及び民間の建設会社において、新たに研究開発された新技術、新工法等を報告することにより、研究開発技術の普及を図ることを目的に開催するもので、今回で31回目となります。

開催期間

令和9年

1月8日(金)▶▶▶1月29日(金)

事前予約

視聴無料

先着1,000名

視聴申込期間

令和8年 ▶▶▶ 令和9年

11月20日(金)▶▶▶1月7日(木)

申込はこちら ▸▸▸ https://www.kensetsu-houkokukai.info

■(一社)全国土木施工管理技士会連合会の継続学習制度(CPDS)認定プログラム[1125109]です。
■(一社)建設コンサルタンツ協会CPD(継続教育)は、受講証明書を発行します。

主催:北陸地方建設事業推進協議会　北陸地方建設技術報告・広報委員会

北陸地方整備局／新潟県／富山県／石川県／新潟市／東日本高速道路(株)新潟支社／中日本高速道路(株)金沢支社
(一社)日本建設業連合会北陸支部／(一社)日本道路建設業協会北陸支部／(一社)新潟県建設業協会／ (一社)富山県建設業協会
(一社)石川県建設業協会／(一社)建設コンサルタンツ協会北陸支部／(一社)日本建設機械施工協会北陸支部／(一社)北陸土木コンクリート製品技術協会
(一社)プレストレスト・コンクリート建設業協会北陸支部／北陸PC防雪技術協会／(一社)新潟県融雪技術協会／(一財)新潟県建設技術センター
北陸地質調査業協会／(一社)日本埋立浚渫協会北陸支部／(一社)北陸地域づくり協会／(一社)日本橋梁建設協会北陸事務所／(一社)北陸融雪技術協会

■お問い合わせ
北陸地方建設事業推進協議会　北陸地方建設技術報告・広報委員会　事務局
(国土交通省　北陸地方整備局　北陸技術事務所内)　担当:技術情報管理官(新技術)
〒950-1101 新潟市西区山田2310番地5
E-mail　master@kensetsu-houkokukai.info

令和8年度　建設技術報告会プログラム

■発表課題

技術番号	テーマ	報告技術名	発表者	会社名	再生時間（分:秒）
1	①	3D LiDARと高解像度カメラを併用した切羽監視システムの開発	大江　隆史	佐藤工業株式会社	10:41
2	①	環境認識システム等を実装した自律施工型ブルドーザ(SmartDozer®)	前﨑　貴博	清水建設株式会社	10:48
3	①	統合施工管理システムによる土工事の自動化と災害復旧工事への展開	岡本　邦宏	株式会社大林組	13:21
4	①	重錘均し管理システム「4D-G･Vision」	安藤　恭平	株式会社本間組	11:38
5	①	i-Construction2.0×遠隔施工 ～遠隔施工における現場の生産性向上～	上田　悠輔	株式会社岡部	14:47
6	①	橋梁予備設計における三次元モデルの活用	高橋　英樹	東京コンサルタンツ株式会社	13:37
7	①	山岳トンネル覆工コンクリート施工における生産性向上に関する技術開発	松本　隆太郎	株式会社奥村組	14:59
8	①	能登半島地震復旧工事で遠隔操作システムによる施工を実証	吉成　健吾	前田建設工業株式会社	14:21
9	②	ベルリプレイス工法(改築推進)に関する地中拡径の実証実験についての報告	光嶋　真由	真柄建設株式会社	12:00
10	②	アスファルト層下面補強用ジオシンセティックスの開発	本間　圭一	北川ヒューテック株式会社	14:52
11	③	路面照射装置を活用した除雪編成見直しによる 作業の安全性，経済性及び生産性の向上について	近藤　伶	株式会社ネクスコ･メンテナンス新潟	11:30
12	③	登坂不能対策と地下水保全を両立する消雪パイプ DX	大橋　勝人	株式会社興和	13:33
13	④	セメントスラリー式噴射撹拌処理工法「PJ工法(タイプⅢ)」	平良　早弥香	株式会社不動テトラ	13:13
14	④	人工排水材を用いたボイリング被害抑止工法 SBDS工法	片山　遥平	五洋建設株式会社	12:27
15	④	アスファルト舗装の地震対策段差抑制工法「HRB工法」	栁澤　淳史	株式会社NIPPO	13:53
16	④	能登半島地震復旧工事におけるプレキャスト踏掛版の有用性について	橿山　尚久	株式会社ガイアート	10:59
17	⑤	フライアッシュを高置換した環境配慮型コンクリートの開発	濱田　洋志	東亜建設工業株式会社	14:32
18	⑤	バイオマス燃焼灰を活用した低環境負荷型藻場基盤材	水野　健太	若築建設株式会社	12:48
19	⑤	高速道路支障木発生材の循環型現地処理による作業効率化とコスト削減 ～循環型社会の形成に向け～	稲田　玲夏	株式会社ネクスコ･メンテナンス新潟	13:23
				合　計	4時間07分22秒

テーマ
① 生産性向上、インフラ分野のDX
② 社会資本の的確な維持管理･更新
③ 雪に強い地域づくり
④ 自然災害からの安全確保
⑤ 環境の保全と創造
⑥ その他